

1.片付けごみ量の推計

「災害廃棄物対策指針【技14-2】災害廃棄物等の発生量の推計方法(環境省)」に基づいて推計を行う。

1-1. 建物被害棟数

	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	合計
住家						
非住家						

1-2. 片付けごみ発生量原単位の設定

	地震	水害・土砂災害
原単位(トン/棟)	2.5	1.7

1-3. 片付けごみ発生量推計

$$\text{片付けごみ発生量} = \text{被災棟数(棟)} \times \text{片付けごみ発生原単位(トン/棟)} = \text{片付けごみ発生量(トン)}$$

トン

2.片付けごみの種類別発生量の推計→仮置場必要面積の推計

種類	区分 (該当する方に○をつける)		割合	発生量(t)	単位体積 重量 (t/m ³)	発生量(m ³)	仮置場必要 面積(m ²)
	可燃物	不燃物					
可燃物	可燃物	不燃物	44.9%				
木くず(自然木等)	可燃物	不燃物	26.7%				
コンクリートがら	可燃物	不燃物	14.4%				
ガラス・陶磁器類	可燃物	不燃物	6.3%				
金属類	可燃物	不燃物	3.6%				
家電類	可燃物	不燃物	1.8%				
スレート	可燃物	不燃物	0.9%				
その他	可燃物	不燃物	1.4%				
合計			100.0%				

※「災害廃棄物対策指針【技14-2】」、「災害廃棄物発生量の推計精度向上のための方策検討会の検討」では、水害の片付けごみの組成について示されていないことから、「水害(平成29年豪雨災害)の片付けごみ発生原単位、仮置場専有面積及び配置計画の検討(第31回廃棄物資源循環学会研究発表会講演原稿2020)」の調査結果(自治体Aの結果)を使用した。